

域における広域公共交通としてのバス運行がスタートいたします。新たなバス運行体系につきましても、既存のバス路線を含めて一体的に日高地域における広域公共交通としてスタートしますが、今後、持続性や利便性確保の観点から必要があれば弾力的に見直しを行っていくこととしてまいります。

また、日高町内を運行する既存の町営バスや町営の送迎事業などにつきましても、地域における公共交通として、通学や通院など、より利便性・効率性が良い交通体系となるよう見直しを含めて検討してまいります。

◎富川市街地活性化

当町の人口の約半数が集まる中心市街地である富川地区につきましても、少子高齢化等による居住人口の高齢化や空き店舗・空き地が増えるなど、中心市街地としてのにぎわいが失われようとしております。富川地区が町民の生活の拠点

として、また、地域間における交流の拠点となるなど、にぎわいのある魅力的なまちづくりを実現するために富川市街地の活性化事業に取り組んでまいります。

なお、拠点となる施設整備につきましても、本年4月1日から運行がスタートする日高地域における広域公共交通の拠点となるバスターミナル機能や行政サービス機能等を備えたものを中心に検討してまいります。

◎道路の整備

道路整備につきましても、国が推進するインフラ老朽化対策による舗装修繕計画に基づき、幹線道路網の整備促進や劣化・損傷した路面の補修、道路排水整備など長寿命化に繋がる道路環境の適切な維持管理・更新に努めてまいります。

橋梁整備につきましても、道路整備同様、計画的に予防保全を行うための個別施設計画に基づき、延命化や補修架け替え費用の縮減を図るため、定期的な点

検を行ってまいります。

河川整備につきましても、近年、甚大な被害をもたらす自然災害に備えるため、河道内の埋塞土除去など防災・減災対策に取り組んでまいります。

◎住宅の整備

町営住宅整備につきましては、住生活基本計画及び公営住宅等長寿命化計画に基づき実施しており、表町団地の整備については平成24年度からの事業が最終年を迎えますが、令和3年度は2棟8戸の建設を行ってまいります。

新栄団地の整備については、昨年度より調査設計等に着手しておりますが、既存の住棟25棟96戸の解体を継続しながら、令和10年度までに14棟56戸の建設を目指してまいります。令和3年度については1棟4戸の建設を予定しています。

また、修繕などについても、長寿命化対策を継続的に推進してまいります。

◎上下水道の整備

下水道事業につきましても、ストックマネジメント計画に基づき、施設の改築・更新を推進するほか、厚賀地区農業集落排水施設の機能強化に努めてまいります。

また、施設の適切な維持・管理等を行い、効率的・経済的な事業運営に取り組んでまいります。

上水道事業につきましても、重要給水施設配水管整備事業による耐震管への更新、水道未普及解消事業による庫富地区への上水道拡張を推進するほか、老朽施設の改築・更新を行ってまいります。

また、一層の経費節減と収納率の向上により経営基盤を強化するとともに適切な維持管理を行い、「安全」「安心」「安定」した給水サービスに取り組んでまいります。

日高地区の簡易水道事業につきましても、各施設の適切な維持管理を行い、安定的な水道水の供給に努めてまいります。

また、今後における地域の情勢や少子高齢化による人口減少により、一層の料金収入の減少が見込まれることから、料金改定を含む中長期の経営計画（経営戦略）を策定し、簡易水道事業の健全な経営に努めてまいります。

安心して暮らせる
まちづくり

◎健康づくり

感染症予防対策として、国の新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業に基づき、迅速かつ適切なワクチン接種の提供に努めてまいります。

また、新規事業として子育て世代包括支援センターを基盤とし、産後ケア事業・産婦健康診査事業に取り組み、健やかな育児ができるよう妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない総合的相談支援を提供してまいります。

◎地域福祉

地域福祉につきましても

は、子育て支援や高齢者、障がい者など、対象者ごとに必要な福祉サービスを提供するため、社会福祉協議会や民間事業者などと連携し取り組んでまいります。

また、各支援の町担当窓口をそれぞれ対象者ごとに集約することで、よりわかりやすく、きめの細かい対応を行うとともに確実な支援に繋げていくよう進めてまいります。

児童福祉につきましても、北海道室蘭児童相談所が苫小牧分室を開設し、身近になったことから、児童虐待の防止など、より迅速かつ適切な対応をはかるとともに各関係機関も含め、情報の共有や連携を進めてまいります。また、広域で運営しております子ども発達支援事業や、通所療育支援事業の在り方について引き続き検討をしてまいります。

めながら、子育て支援センターや保育所、児童館などにおける子育て支援体制を充実させ、安心して子育てできる環境づくりに努めてまいります。

子育て世帯における仕事との両立を支援するため放課後児童健全育成事業については、引き続き適切な運営に努めてまいります。

保育所につきましても、老朽化した町内施設の計画的な整備を順次進めておりますが、二葉保育所を整備するにあたり、富川ひばり幼稚園においても老朽化などにより幼稚園型認定子ども園の創設を検討していたことなどから、あらためて施設整備について協議してまいります。

その結果、富川地区においては、幼児教育及び保育を一体とする民設での幼保連携型認定子ども園の創設が、少子化における保育の受皿を効果的に確保していく上でも適切であると判断いたしました。今後は、富川ひばり幼稚園が行う施設

整備における費用負担など様々な支援を行い、安全で安心できる保育環境を維持してまいります。

高齢者福祉では、令和3年度から令和5年度までの新たな「高齢者保健福祉計画」及び「第8期介護保険事業計画」に基づき、高齢者が住み慣れた町で安心して暮らし続けられるよう、関係機関が連携し、地域包括ケアシステムの推進、介護予防、在宅福祉サービスの取り組みの一層の充実に努めてまいります。

また、認知症高齢者の理解促進に向けた認知症予防のための体制整備を進めるため、地域支援事業の推進、関係機関や町内会、老人クラブなど関係団体と連携した地域サロン活動や地域高齢者等の支え合い活動などを一層推進してまいります。

国民健康保険事業につきましても、特定健診・特定保健指導の実施率の向上に対し、国が交付金を割り当てる「保険者努力支援制度」が導入されており、町民の

健康づくりに向けた取り組みがますます重要となっています。

生活習慣病や糖尿病等の重症化予防の取り組みとして、町内医療機関等との連携により、健康寿命の延伸と医療費の伸びを抑制することを目的とした各種検診等の受診勧奨を進めてまいります。

また、高齢者自らが健康のため、介護予防に取り組むことが重要なことから「自分の健康は自らが守り、つくる」といった健康管理意識を持つなど、健康づくり活動が日常のものとなるよう啓蒙してまいります。

◎町立病院事業

門別国保病院につきましても、地域に根付いた医療機関として、安心して受診・療養できる医療提供体制の確保に努めるとともに、病院改革の取り組みにより、収入の確保に努め経営の安定と地域医療の充実を図ってまいります。

日高国保診療所につきま

しては、日高地区の医療機関として、町民ひとりひとりが安心して受診できるように、現状の医療体制を維持しながら経営の安定に努めてまいります。

また、引き続き「日高診療所だより」の発行など住民への情報提供の充実に取り組んでまいります。

富川国保診療所につきましても、門別国保病院と連携し、予防接種や検診事業・訪問診療などの充実を図り、経営の健全化に取り組み、地域医療の向上に努めてまいります。

◎防災対策

防災対策につきましても、自主防災組織を主体とした活動を支援し、町民の自助・共助の意識向上に努めてまいります。

また、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に伴う津波、浸水想定に基づきハザードマップの更新を行い、災害時の情報伝達や避難態勢の確立を進め、災害に強い町を目指してまいります。